

1 県土保全と復興まちづくり

【現状、課題と取組の方向性】

本県では、これまで、洪水や土砂災害、通行規制等の各土木関係の災害情報を提供する各種情報システムの運用により災害関連情報の一元管理を図ってきました。

しかしながら、今回の歴史的な津波災害は、県内沿岸部の327km²を浸水させ、多くの人命を奪い多数の施設を流出させたほか、内陸部では地震により住宅被害や宅地の崩壊等の被害が広範囲で発生するなど、県内社会資本の多くをゼロから再生しなければならないという極めて困難な状況に陥りました。

未曾有（みぞう）の震災からの復興に当たって、本県の土木・建築分野では、平成23年10月に「社会資本再生・復興計画」を策定し、単なる復旧にとどまらない、震災前にも増して豊かさと安全・安心が実感できる宮城県の再構築を目指しているところです。この計画は、土木部が所管するすべての事業についての目標を示し、その着実な推進と進捗管理を図るためのものでもあることから、被災した公共施設の復旧工事着手状況及び完了状況については、ウェブサイトにより発信をしていきます。また、土木部では、膨大な業務量に対応するため、発災直後から平成24年度までに全国31都道府県から延べ450名以上の応援（自主派遣を含む）を受け、平成26年2月末時点では30都道府県115名の派遣職員が復興の最前線で活躍しています。このことから復旧・復興情報の発信は、県民のみならず全国に向けて感謝の意を込めたものともなっているところです。

さらに、復興まちづくり事業の本格化に合わせ、特に沿岸地域の被災者の方々が復旧・復興事業の計画を把握し、復興の加速化を実感できるよう、復興庁宮城復興局と連携し、国、関係市町等の協力を得て作成している「復興まちづくり事業カルテ」についても、ウェブサイトによりタイムリーに継続発信していきます。



分野	7	公共土木施設	項目	1	県土保全と復興まちづくり
----	---	--------	----	---	--------------

1 宮城県河川流域情報システム（MIRAI）の運用

目的・概要 性質・手法 システム 情報発信

宮城県河川流域情報システム（MIRAI）は、自治体や水防団による水防活動や警戒態勢に万全を期すために、リアルタイムで県民に水位及び雨量情報を提供するものです。今後も水位及び雨量観測所を適切に管理・増設していくとともに、震災の被害を踏まえた回線の冗長化など確実に情報把握・提供できる洪水予報システムに再構築します。

重点目標 安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域
情報活用力の向上 行政運営の最適化

主体 県

関連URL <http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi/servlet/Gamen30Servlet>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	保守管理，通信回線設計，観測局設計	保守管理，統制局更改，通信回線詳細設計	保守管理，集配局更改，通信回線再構築
継続	→		

担当 土木部 河川課

参考 宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

2 宮城県砂防総合情報システム（MIDSKI）の運用

目的・概要 性質・手法 システム 情報発信

土砂災害から人命を守るため、的確な情報伝達により早期に避難が可能となるような警戒・避難体制を整備・拡充します。降雨や土砂災害危険度等の土砂災害に関する気象情報，土砂災害危険箇所や避難所等の地図情報などを市町村や関係機関と共有し，県民に提供する総合的な情報システムを整備・拡充することにより，迅速かつ的確な警戒・避難活動を支援し，土砂災害の減災につなげます。

重点目標 安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域
情報活用力の向上 行政運営の最適化

主体 県

関連URL <http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/index.jsp>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	開発・構築	運用	
継続	→		

担当 土木部 防災砂防課

参考 宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

分野 7 公共土木施設 項目 1 県土保全と復興まちづくり

3 道路管理GIS*システムの運用

目的・概要

性質・手法

システム

情報発信

道路管理業務の「効率化・高度化」，「行政サービスの向上」及び「緊急時業務の迅速化」を目的としてGIS（地理情報システム）を活用した8つの道路管理システム（通行規制，道路台帳，気象情報，災害情報，苦情要望，施設情報，ウェブ公開基盤，道路情報板の各管理システム）を平成25年度に構築しました。ウェブ公開システムでは，通行規制情報や冬期間の降雪積雪等の情報を提供しています。

重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

関連URL

<http://roadgis.pref.miyagi.jp/gispub/Internet/ISP001.aspx>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用		
継続	→		

担当

土木部 道路課

4 CALS/EC*の整備

目的・概要

性質・手法

システム

調査，設計から工事，維持管理に至る公共施設のライフサイクル全般にわたる各種情報を一定の標準に基づいて電子化し，ネットワークを介して，公共機関（公共施設管理者）や企業間等において交換・共有することにより，事業期間の短縮，コストの縮減，生産性の向上を図ります。庁内技術職員を対象としたCAD*研修や電子納品保管システムの導入検討，工事における電子納品の試行を実施しています。

重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県，市町村

関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/2index.html>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	導入準備・研修実施	開発	運用
継続	→		

担当

土木部 事業管理課

参考

宮城県CALS/ECアクションプログラム

宮城県土木部復興だより **ウェブ**

道路、河川・海岸、港湾、空港、住宅等の災害復旧・復興事業の進ちょく状況や復興まちづくりの情報を集約して、タイムリーに継続発信しています。

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/fukou-davori.html>

担当 土木部 土木総務課



復興まちづくり通信 **ウェブ**

県内各市町の復興まちづくりに関する取組・話題や地域別の動向，県からののお知らせをまとめた，「復興まちづくり通信」を発信しています。

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukumachi/fukumachitusin.html>

担当 土木部 復興まちづくり推進室



復興まちづくり事業カルテ **ウェブ**

事業の本格化に合わせ、各事業の調整を図り、被災者の方々が復旧・復興事業の計画を把握できるよう、関係機関の協力を得て「復興まちづくり事業カルテ」を作成しています。

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/karte/>

担当 土木部 復興まちづくり推進室

